

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 7 月 29 日 (2021.7.29)

【公開番号】特開 2020-174043 (P2020-174043A)

【公開日】令和 2 年 10 月 22 日 (2020.10.22)

【年通号数】公開・登録公報 2020-043

【出願番号】特願 2020-100629 (P2020-100629)

【国際特許分類】

F 2 1 S 2/00 (2016.01)

H 0 1 L 33/54 (2010.01)

H 0 1 L 33/60 (2010.01)

H 0 1 L 33/62 (2010.01)

H 0 1 L 33/50 (2010.01)

F 2 1 V 23/00 (2015.01)

F 2 1 V 5/10 (2018.01)

F 2 1 Y 115/10 (2016.01)

【F I】

F 2 1 S 2/00 4 1 5

H 0 1 L 33/54

H 0 1 L 33/60

H 0 1 L 33/62

H 0 1 L 33/50

F 2 1 S 2/00 4 1 3

F 2 1 S 2/00 4 1 9

F 2 1 V 23/00 1 6 0

F 2 1 V 5/10

F 2 1 Y 115:10 5 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 15 日 (2021.6.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外部に光を放射する発光面となる第一主面と、前記第一主面の反対側の面であって凹部を備える第二主面とを有し、前記凹部が、実質的な平坦な面からなり前記凹部の開口部の大きさよりも小さい底面と、前記底面側に設けられ前記凹部の外側に向かって凸の湾曲面または前記開口部に向かって傾斜した平面を少なくとも有する側面と、を含む透光性の導光板と、

発光素子を含み、接合部材を介して前記凹部の底面に固着された発光体と、前記発光素子の電極に形成された配線と、を備えた発光モジュール。

【請求項 2】

前記側面は、垂直な面を含む、請求項 1 に記載の発光モジュール。

【請求項 3】

前記発光体が、発光素子と、前記発光素子の主発光面を覆う透光性部材を有する、請求

項 1 又は 2 に記載の発光モジュール。

【請求項 4】

前記凹部の開口部の内形が、前記透光性部材の外形よりも大きい、請求項 3 に記載の発光モジュール。

【請求項 5】

前記透光性部材は、波長変換部材を含む、請求項 3 又は 4 に記載の発光モジュール。

【請求項 6】

接合部材が、波長変換部材を含む、請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の発光モジュール。

【請求項 7】

前記発光体は、前記発光素子の側面を覆う第一光反射性部材を有する、請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載の発光モジュール。

【請求項 8】

前記配線は、前記第一光反射性部材を被覆する、請求項 7 に記載の発光モジュール。

【請求項 9】

前記導光板の前記第二主面および前記発光体を被覆する、第二光反射性部材を有する、請求項 1 ～ 8 のいずれか一項に記載の発光モジュール。

【請求項 10】

前記配線は、前記第二光反射性部材を被覆する、請求項 9 に記載の発光モジュール。